

## 2016年度 松田康子氏 ピアノ 特別講義

1. 日 時 : 2016年 11月 8日(火) 14時00分~18時00分
2. 場 所 : F号館 112教室
3. 対象学生【必修】 : 公開レッスン受講生 他聴講可(学内のみ)
4. 講師紹介 : 松田 康子氏

京都出身。13歳で大阪フィルハーモニー交響楽団と共演。京都市立堀川高校音楽科から東京藝術大学、同大学大学院に学ぶ。伊奈和子、土肥みゆき、田村宏、永井進、園田高弘の各氏に師事。73年渡独。ミュンヘン音大でローズル・シュミットに師事。国家芸術家試験に最優秀賞で合格。78年ヴィットリオ・グイ室内音楽コンクール入賞。84年セルジュ・チェリビダッケ指揮ミュンヘンフィルとラヴェル「ピアノ協奏曲」で共演、キャリアを本格スタートさせる。88年・90年・94年・96年ベルリン・フィルハーモニーホールでのモーツァルト・ピアノ協奏曲ツィクルス(コンラート・ラッテ指揮)。89年ザルツブルクのモーツァルト週間でレオポルト・ハーガー指揮ウィーンフィルと共演したのをはじめ、ポーランド室内管弦楽団、北ドイツ放送響、ミュンヘンフィル、中央ドイツ放送響と共演。

このほかにもザルツブルク・モーツァルト管弦楽団、イエナ・フィルハーモニー管弦楽団、パドヴァ室内管弦楽団、カッセル州立管弦楽団、バッハ・コレギウム・ミュンヘンなどの公演に招かれている。

リサイタルソリストとしてミュンヘン、モスクワ、ミラノ、ヤンゴンで演奏。

2011年にはゲーティンスティテュートの招待で、バングラデシュ、インドで演奏会、マスターコースを開く。

室内楽にも積極的に取り組んでおり、バイエルン放送響コンサートマスターのフロリアン・ゾーンライトナー、州立歌劇場管弦楽団首席チェロ奏者ペーター・ヴェットケ、バイエルン放送響元首席フルーティストのアンドラーシュ・アンドリアンらとしばしば舞台を共にしているほか、2004年よりフランス、スペイン、イタリア、スロベニアでフランス人バイオリニストピエール・オマージュとデュオで演奏活動。

ブゾーニ、カサ・グランデ、ポルト、ポッツォーリ、サンレモ、アンドーラ、ピネロロなどの国際ピアノコンクール、トリオ・デ・トリエステ室内楽、ヴィットーリオ・グイといった室内楽コンクールの審査員を務める。ミュンヘンのR・シュトラウス音楽院、京都市立芸術大学を経てミュンヘン音楽大学で教鞭を執る。

## 5. 講義概要 :

14:00 橋田 歌寿美 (大4) スクリャービン ピアノソナタ 第2番 嬰ト長調 op.19  
「幻想ソナタ」 第1楽章

15:00 釜浦 有沙 (大4) シューマン 謝肉祭 op.19

1. 前口上
2. ピエロ
3. アルルカン
4. 高貴なワルツ
5. オイゼビウス
6. フロレスタン
7. コケット
8. 応答

- 休憩 12:45~13:30 -

16:00 東 未来 (大4) ドビュッシー 前奏曲集 第2集より

- I. 霧
- V. ヒースの茂る荒地
- VI. 風変わりなラヴィーヌ將軍
- IX. ピックウィック殿礼讃

17:00 石原 華子 (大4) ブラームス ピアノソナタ第3番 へ短調 Op.5 第1楽章